

平成27年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年10月3日
上場取引所 東証第二部

上場会社名 マックスバリュ東北株式会社
コード番号 2655 URL <http://www.mv-tohoku.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 内田 和明
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画本部長
兼リスクマネジメント責任者 (氏名) 山内 紀幸

TEL (018)847-0111

四半期報告書提出予定日 平成26年10月6日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家及びアナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年2月期第2四半期の業績 (平成26年3月1日～平成26年8月31日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
平成27年2月期第2四半期	57,011	14.1	222	△11.6	220	△21.4	113	10.4
平成26年2月期第2四半期	49,960	—	251	—	280	—	103	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
平成27年2月期第2四半期	6.26	6.25
平成26年2月期第2四半期	5.86	5.85

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
平成27年2月期第2四半期	27,172	3,698	13.5
平成26年2月期	23,823	3,469	14.5

(参考) 自己資本 平成27年2月期第2四半期 3,676百万円 平成26年2月期 3,447百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
平成26年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
平成27年2月期	—	0.00			
平成27年2月期(予想)			—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年2月期の業績予想 (平成26年3月1日～平成27年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	115,000	16.3	900	106.1	800	59.8	400	—	22.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

平成 27 年 2 月期 2 Q	13, 120, 000 株	平成 26 年 2 月期	12, 000, 000 株
平成 27 年 2 月期 2 Q	7, 886 株	平成 26 年 2 月期	7, 866 株
平成 27 年 2 月期 2 Q	13, 112, 122 株	平成 26 年 2 月期 2 Q	11, 992, 194 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。平成 26 年 10 月 2 日付にて、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）4 ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
- 上記 1. 「平成 27 年 2 月期第 2 四半期の業績」(1) 「経営成績（累計）」の「1 株当たり四半期純利益」「潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益」及び 3. 「平成 27 年 2 月期の業績予想」の「1 株当たり当期純利益」の金額については、A 種類株式が転換仮定方式に準じて算定された株式数を、普通株式の期中平均株式数に加えて算定しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報.....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報.....	3
(3) 業績予想に関する定性的情報.....	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項.....	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更、修正再表示.....	4
3. 四半期財務諸表.....	5
(1) 四半期貸借対照表.....	5
(2) 四半期損益計算書.....	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書.....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記.....	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	10
(6) 重要な後発事象.....	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間における経営環境は、政府の経済政策や金融緩和を背景に一部企業の業績が回復するなど景気の緩やかな回復の動きが見られましたが、消費税率引き上げによる影響やエネルギーをはじめとする輸入原材料等の値上げ圧力が強まるなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。当社がスーパーマーケットとして営業基盤とする東北エリアにおいても、人口減少と個人消費の停滞の長期化とともに、お客さまの生活防衛志向や節約志向が依然として継続しております。また、競合各社との価格競争に加え業種・業態を超えた競争が激化するなど厳しい状況が続いております。

こうした中で当社は、去る3月1日付で岩手県を地盤とするマックスバリュ北東北株式会社と合併し両社の経営資源の集中と効率化により強固な事業基盤の構築に努めることといたしました。これにより当社は、青森県23店舗、秋田県37店舗、岩手県10店舗、山形県26店舗、新潟県7店舗の合計103店舗となりました。

当第2四半期累計期間においては、大型改装を2店舗実施しデリカコーナーのリニューアルや加工食品・ノンフーズ売場の拡充により品揃えの幅を拡大したほか、売場ゾーンの見直しや商品構成の変更などを行う改装を9店舗実施して、シニア対応の強化と立地特性に合わせた魅力的な売場づくりを進めてまいりました。また、生鮮食品部門でのイオンのブランド「トップバリュ」商品の拡大などにより価格競争力の強化に努めるとともに、小容量パックの充実や調理の手間を省く商品の品揃え、デザートの実装などに努めました。

当第2四半期累計期間では、消費税率引き上げ前後の駆け込み需要とその反動、梅雨明け以降の天候不順などの影響があり、期間中のお客さま一人当たり買上点数は既存店ベースで対前年同期比98.2%、客数は同98.6%、客単価は同99.8%となり、結果として既存店売上高は同98.4%となりました。また、付加価値を高めた即食性・簡便性を持つ商品群の充実や売価変更ロスの削減などに努めた結果、売上総利益率は前年同期比0.3ポイント上昇し22.0%となりました。一方経費面では、収益性の向上のためコスト構造改革を継続して進めた結果、販売費及び一般管理費の総額は既存店ベースで対前年同期比99.2%となりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の業績は営業収益570億11百万円(対前年同期比114.1%)、営業利益222百万円(対前年同期比88.4%)、経常利益220百万円(対前年同期比78.6%)となり、四半期純利益は113百万円(対前年同期比110.4%)となりました。

<商品部門別の動向>

農産・水産・畜産・サービスデリの生鮮食品部門においては、家族で囲む食卓用やハレ型の商品群である刺身や牛肉、肉食志向・肉食志向、調理の簡便な商品群の惣菜や弁当、冷凍水産品などのほか、水産部門と畜産部門で展開し焼くだけでできあがる「ふらいぱん亭」の商品群が好調に推移しました。

加工食品・デイリー食品部門においては、日々の暮らしのニーズに対応する商品の品揃えのほか「普段よりちょっといいもの」の品揃えや肉食志向・簡便志向に対応した売場づくりに努めた結果、アイスクリームやフローズンフード、魚惣菜、乳加工品などの商品群が好調に推移しました。

非食品部門では、ノンフーズコーナーの拡充を進めたことや、消費税率引き上げ前の駆け込み需要などにより好調に推移しました。

さらに、「トップバリュ」の拡販に努めた結果、全体に占めるトップバリュ商品の売上構成比は、前年同期の15.3%から当第2四半期累計期間では16.2%となりました。

〈商品部門別売上状況〉

前事業年度及び当事業年度における販売実績を商品部門別に示すと、次のとおりであります。

商品部門別	前事業年度 〔 2013年3月1日から 2013年8月31日まで 〕		当事業年度 〔 2014年3月1日から 2014年8月31日まで 〕		比較増減
	金額	構成比	金額	構成比	金額
	千円	%	千円	%	千円
加工食品	17,041,028	34.8	19,026,069	34.0	1,985,041
生鮮食品	17,723,692	36.2	20,369,690	36.4	2,645,997
デイリー食品	11,807,742	24.1	13,695,904	24.4	1,888,162
食品部門計	46,572,462	95.1	53,091,664	94.8	6,519,202
ノンフーズ	2,326,401	4.7	2,823,548	5.0	497,146
その他	113,371	0.2	114,717	0.2	1,346
非食品部門計	2,439,772	4.9	2,938,266	5.2	498,493
合計	49,012,235	100.0	56,029,930	100.0	7,017,695

(2) 財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前事業年度末に比べ23億99百万円増加し、89億75百万円となりました。増減の主な内訳は、現金及び預金が7億32百万円、商品が3億49百万円、電子マネー決済の増加等で未収入金が12億16百万円増加したこと等によります。

固定資産は、前事業年度末に比べ9億49百万円増加し、181億96百万円となりました。増減の主な内訳は、合併による有形固定資産の受入等で8億68百万円、投資その他の資産が78百万円増加したこと等によります。

この結果、総資産は前事業年度末に比べ33億48百万円増加し、271億72百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前事業年度末に比べ34億7百万円増加し、202億5百万円となりました。増減の主な内容は、当四半期会計期間末日が金融機関休業日のため決済が翌四半期会計期間へ回ったこと及び合併等により、買掛金が42億17百万円、未払金及び未払費用が8億76百万円増加し、短期借入金金が28億円減少したこと等によります。

固定負債は、前事業年度末に比べ2億88百万円減少し、32億68百万円となりました。これは、主に長期借入金が2億65百万円減少したこと等によります。

この結果、負債合計は前事業年度末に比べ31億19百万円増加し、234億73百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前事業年度末に比べ2億29百万円増加し、36億98百万円となりました。これは、合併による資本金の増加1億円及び資本剰余金の増加3百万円と四半期純利益を1億13百万円計上したこと等によります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前年四半期累計期間末より2億75百万円増加し、15億55百万円となりました。当第2四半期累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、前年同四半期累計期間より4億76百万円減少し、46億円となりました。その主な要因は、当四半期会計期間末が金融機関休業日に伴い買掛金支払が翌会計期間に回ったことによる仕入債務の増加34億3百万円、その他の負債の増加11億25百万円、減価償

却費 8 億 7 百万円、未収入金の増加 10 億 25 百万円等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、前年同四半期累計期間より 5 億 72 百万円減少し、6 億 52 百万円となりました。その主な要因は、有形固定資産の取得による支出 5 億 93 百万円、預り保証金の返還による支出 49 百万円等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、前年同四半期累計期間より 30 百万円増加し、33 億 3 百万円となりました。その主な要因は短期借入金の純減額 29 億 51 百万円、長期借入金の返済による支出 3 億 51 百万円等によるものです。

(3) 業績予想に関する定性的情報

2015 年 2 月期通期の業績予想につきましては、2014 年 4 月 8 日に公表しました業績予想を修正しておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更、修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2014年2月28日)	当第2四半期会計期間 (2014年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	822,081	1,555,010
売掛金	108,116	186,743
商品	2,594,478	2,943,635
貯蔵品	33,339	36,434
前払費用	305,243	328,365
繰延税金資産	91,509	91,193
未収入金	2,467,958	3,684,290
その他	154,943	154,045
貸倒引当金	△1,026	△3,773
流動資産合計	6,576,642	8,975,945
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,849,387	9,418,700
工具、器具及び備品(純額)	1,267,101	1,457,537
土地	5,188,682	5,148,780
建設仮勘定	21,791	170,498
有形固定資産合計	15,326,963	16,195,516
無形固定資産	22,148	24,482
投資その他の資産		
投資有価証券	99,225	117,895
長期前払費用	470,636	459,860
差入保証金	1,277,681	1,349,980
その他	52,972	50,781
貸倒引当金	△2,757	△2,157
投資その他の資産合計	1,897,758	1,976,359
固定資産合計	17,246,870	18,196,358
資産合計	23,823,513	27,172,304

(単位:千円)

	前事業年度 (2014年2月28日)	当第2四半期会計期間 (2014年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	7,564,767	11,782,203
短期借入金	4,100,000	1,300,000
1年内返済予定の長期借入金	661,600	576,000
未払金及び未払費用	1,933,916	2,810,784
未払法人税等	157,151	104,173
未払消費税等	473,149	425,526
賞与引当金	107,219	146,608
役員業績報酬引当金	—	3,035
設備関係支払手形	175,676	539,715
資産除去債務	—	13,500
店舗閉鎖損失引当金	13,536	8,572
その他	1,610,840	2,495,280
流動負債合計	16,797,859	20,205,400
固定負債		
長期借入金	530,700	264,900
退職給付引当金	338,108	319,259
長期預り保証金	1,427,897	1,415,425
繰延税金負債	182,234	187,709
資産除去債務	963,867	1,026,941
その他	113,539	54,105
固定負債合計	3,556,347	3,268,341
負債合計	20,354,206	23,473,741
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,585,000	3,685,000
資本剰余金	4,062,645	4,065,983
利益剰余金	△4,225,772	△4,111,934
自己株式	△7,258	△7,277
株主資本合計	3,414,613	3,631,771
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	32,954	45,051
評価・換算差額等合計	32,954	45,051
新株予約権	21,739	21,739
純資産合計	3,469,306	3,698,562
負債純資産合計	23,823,513	27,172,304

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2013年3月1日 至 2013年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2014年3月1日 至 2014年8月31日)
売上高	49,012,235	56,029,930
売上原価	38,398,729	43,700,061
売上総利益	10,613,506	12,329,868
その他の営業収入	948,603	981,464
営業総利益	11,562,110	13,311,333
販売費及び一般管理費	11,310,439	13,088,881
営業利益	251,670	222,452
営業外収益		
受取利息	1,351	1,247
受取配当金	1,056	1,069
債務勘定整理益	3,293	9,238
補助金収入	7,773	255
違約金収入	7,926	633
受取保険金	24,086	4,842
貸倒引当金戻入額	1,384	—
その他	6,538	3,325
営業外収益合計	53,409	20,610
営業外費用		
支払利息	21,896	19,612
リース解約損	1,582	—
その他	1,452	3,254
営業外費用合計	24,931	22,867
経常利益	280,148	220,195
特別利益		
固定資産売却益	—	92
特別利益合計	—	92
特別損失		
減損損失	24,746	42,454
投資有価証券評価損	960	—
店舗閉鎖損失引当金繰入額	19,600	1,669
その他	—	1,787
特別損失合計	45,307	45,910
税引前四半期純利益	234,841	174,377
法人税、住民税及び事業税	77,114	72,500
法人税等調整額	54,614	△11,961
法人税等合計	131,728	60,538
四半期純利益	103,113	113,838

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2013年3月1日 至 2013年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2014年3月1日 至 2014年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	234,841	174,377
減価償却費	694,026	807,587
減損損失	24,746	42,454
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△10,054	2,146
賞与引当金の増減額 (△は減少)	3,378	2,615
役員業績報酬引当金の増減額 (△は減少)	△12,190	△3,000
店舗閉鎖損失引当金の増減額 (△は減少)	19,600	△4,964
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	4,308	△18,849
受取利息及び受取配当金	△2,407	△2,316
支払利息	21,896	19,612
有形固定資産売却損益 (△は益)	—	△92
投資有価証券評価損益 (△は益)	960	—
その他の損益 (△は益)	△162	22,769
売上債権の増減額 (△は増加)	△52,657	△71,315
未収入金の増減額 (△は増加)	△498,472	△1,025,418
たな卸資産の増減額 (△は増加)	3,019	14,455
仕入債務の増減額 (△は減少)	3,508,148	3,403,794
未払金の増減額 (△は減少)	56,534	204,848
未払消費税等の増減額 (△は減少)	80,949	△47,622
新株予約権の増減額 (△は減少)	10,551	—
その他の資産の増減額 (△は増加)	65,134	87,256
その他の負債の増減額 (△は減少)	944,572	1,125,823
小計	5,096,723	4,734,164
利息及び配当金の受取額	1,075	1,094
利息の支払額	△20,579	△18,349
その他の収入	38,397	9,055
その他の支出	△2,035	△4,041
法人税等の支払額	△36,284	△121,576
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,077,298	4,600,348
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△919,537	△593,711
有形固定資産の売却による収入	21,763	198
差入保証金の差入による支出	△269,415	—
差入保証金の回収による収入	65,191	32,649
預り保証金の受入による収入	20,158	4,371
預り保証金の返還による支出	△113,547	△49,520
その他	△29,493	△46,121
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,224,881	△652,133

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2013年3月1日 至 2013年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2014年3月1日 至 2014年8月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△2,480,000	△2,951,402
長期借入金の返済による支出	△792,300	△351,400
その他	△1,000	△1,018
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,273,300	△3,303,821
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	579,116	644,393
現金及び現金同等物の期首残高	700,831	822,081
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	88,535
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,279,948	1,555,010

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、2014年3月1日付で当社を存続会社、マックスバリュ北東北株式会社を消滅会社とする吸収合併をいたしました。この結果、当第2四半期累計期間において、資本金が100,000千円、資本剰余金が3,338千円増加し、当第2四半期会計期間末において、資本金が3,685,000千円、資本剰余金が4,065,983千円となっております。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。